

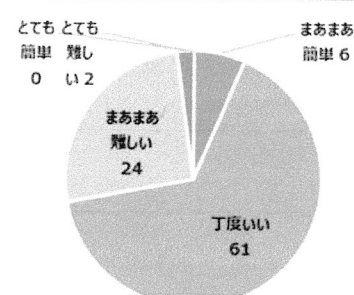
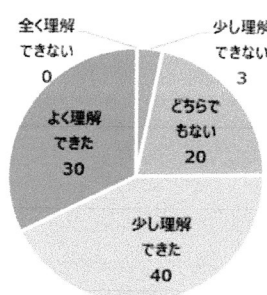
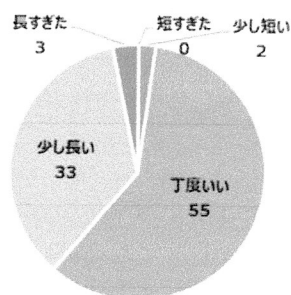
合同シンポジウム アンケートまとめ

2018/09/13

アンケート集計数：93 枚（来客者数：334 名）

■ 1-①、②、③シンポジウム概要について（回答 93 名）

①内容に対しての総時間は適切でしたか？ ②講義内容について理解できましたか？ ③難易度はいかがでしたか？



■ 1-④一番印象に残った内容は何ですか？（回答 93 名）

- ✓ アセットマネジメント実装について、課題がわかりやすく“因数分解”されて良かった。ディスカッションは内容が充実しており、為になる。
- ✓ 計画と実態が合わないのがアセットマネジメントだと思っていましたが、アセットマネジメントを実践するイメージが少し分かりました。
- ✓ 討論では様々な立場の方がそれぞれ異なる見方をしており、興味深かったです。大学の先生方の学術的な内容も、とても分かりやすく説明していただきました。
- ✓ SIP インフラメンテナンスの実用例。特に電磁波が橋りょう床版下の不具合を探查する技術は実装レベルにあり興味深かった。
- ✓ 小林先生の日本型（的）マネジメントの見える化のお話
- ✓ 丸山先生のアセットマネジメント、維持管理に関する地方の実態について、なかなか本当の話をしない風潮にあり、本当の現在のあり様を話してもらい、良かった。
- ✓ 小澤先生「アセット M の実装に向けて」計画から運用の流れが一番の課題と思います。具体的方策が示されていて、判かりやすかったです。

- ✓ 市長講話。民間活用をはかるための体制づくり、自分の市ではやっていないことを多くやっていた。
- ✓ ECI 方式についての内容や桑名市の事例が印象に残った。
- ✓ 自分が計画部門に在席して、維持管理部門にアセットマネジメントの考え方がなかなか伝わらないため、実装のための阻害要因の話に興味深かった。技術者不足なので ECI 方式の話に興味深かった。

パネルディスカッションを挙げている人が一番多く、全体の約 6 割 (56 名)

■ 2.アセットマネジメントを推進していく上であなた自身が悩まれていることは何ですか？ (回答 57 名)

- ✓ 財源不足。既有施設の維持管理より新たな事業（施設の新設、機能転換など）に予算が重点配分される。
- ✓ 自治体へ提案する際、予算の関係で受け入れられない、後回し等になり、LCC がずれること。予算の都合計画通りにならない場合が多い。
- ✓ 少人数でさまざまなインフラの管理を行っている自治体が多くみられるため、将来に不安を感じる。
- ✓ 長寿命化計画の形骸化、統括する組織の人員不足。更新費の削減に、新技術の導入
- ✓ アセットマネジメントのメリットが理解不足であり、PR をしないと導入が拡大しないし、ISO55000S など見向きもされない
- ✓ 土木職や機械、電気職の職員が不足する中長期的な見通しが必要だが、理解する土壌が不足している。担当人数が少ないなかで、日々の業務に忙殺されていて、そこまで気が回っていない。
- ✓ アセットマネジメント業務で作成された資料が現場の実情とかけ離れていて使えない。
- ✓ 自治体、首長への提案が議会で否決される

予算不足、人材不足、周囲の理解不足などが主な内容

■ 3-①今後開催して欲しいシンポジウム等のご要望はありますか？ (回答 37 名)

事例紹介に関する要望が多く、インフラ別の事例（特に上下水道）、海外の事例、地方公共団体の事例の要望が多い。その他 PPP や新しい技術、支援組織の取組、ISO の紹介という意見があった。

■ 3-②シンポジウムの内容に対するご質問、ご意見、ございましたらご記入ください (回答 39 名)

「大変ためになる内容だった」、「他の自治体の方にも広く聞いていただけたらと思います」というような感想が多かった。一方で「配布資料の字が小さくて読めない」、「会場が寒かった」という指摘もあった。